

# 関西の発展に向けて邁進するAPIR

アジア太平洋研究所 (APIR) は、2011年12月に発足以来、アジア太平洋地域の新たな活力創出、持続的な発展に寄与するため、政策提言や情報提供を行っている。今号では、APIRの最新の動向や研究者の思いを紹介する。

## 注目されるAPIR

### ■ APIRの概要

APIRは、産学官協働による実践的な研究を通じて政策提言や情報提供などの活動を展開している。

特に関西経済に関しては、独自の関西GRP (域内総生産) 推計や景気予測などもふまえた、動向分析を行っている。

近年では、経済界のニーズにあわせ、TPP、インバウンド促進、女性活躍推進など、ビジネスに直結するテーマについての研究を推進している。また、エネルギーミックス構築、コーポレートガバナンスのあり方等、関経連との共同研究も進めている。

### ■ 研究体制の充実・強化

APIRでは、研究体制の充実・強化に向けた取り組みを継続している。2017年10月には、本多祐三 関西大学教授が新たに研究統括に就任し、金融や計量経済学分野での専門性が一層強化された。また、次代を担う人材の育成の観点から研究員 (P.7参照) や研究インターン生を採用し、国内の若手研究者や留学生の新しい知見や発想も生かしながら、研究成果を出している。

## 2017年度の研究・アウトリーチ

### ■ 17年度研究テーマ

17年度は、経済動向や社会情勢等をふまえて、9件の研究テーマを設定した(表)。

「アジア太平洋地域におけるFTAとEPAのあり方」では、ポストTPPが、ASEAN経済共同体(AEC)や東アジア地域包括的経済連携(RCEP)などの多国間経済連携協定へ与える影響もふまえ、東アジア諸国の経済や、関西企業にどのような変化をもたらすのかについて、経済と国際法の両面から分析を行っている。

「エネルギーミックス構築、地球温暖化対策への対応」では、パリ協定発効後の国際情勢や電力システム改革、カーボンプライシングなどについて、共催

のシンポジウムの開催などを通して、当会との問題意識の共有および具体的な政策提言に向けた検討を行っている。

### ■ 積極的なアウトリーチ活動

APIRでは、研究活動について広く理解を深めていただけるよう、アウトリーチ活動も重視している。「研究概要」のほか、機関誌「APIR Now」(年4回発行)、ホームページ等を通じて、最新の経済情勢等に関する考察や研究所内外の活動等の情報を広く発信している。

17年12月には、「世界同時株高、いざなぎ超え、好調関西経済の総検証」と題して景気討論会を開催。当会からは角和夫副会長が登壇し、高騰する株価の行方、ゴールデン・スポーツイヤーズを迎える関西のインバウンド戦略など、日本・関西経済の現況や課題等について議論した。

### 〈表 2017年度研究テーマ〉 ★は2017年度新規テーマ

#### 【アジア太平洋軸】

- ① アジア太平洋地域におけるFTAとEPAのあり方
- ② アジアにおける開発金融と金融協力
- ③ 中所得国の新展開

#### 【日本・関西経済軸】

- ④ インバウンド先進地域としての関西
- ⑤ 都市におけるIoTの活用
- ⑥ エネルギーミックス構築、地球温暖化対策への対応

★⑦ 人口減少が経済に与える影響の分析

#### 【経済予測・分析軸】

- ⑧ 交通インフラ整備の経済インパクト分析
- ★⑨ ビッグデータを利用した新しい景気指標の開発と応用

#### 【定例業務】

経済調査分析(経済予測モデル等)

